

生活リハビリ講座 2017

人間学的認知症介護論【全6回】

医学の限界、倫理主義の息苦しさ、技術主義の皮相さを超える、
人間学を根拠とした新しい認知症介護論

この現場は特別なことをしていないのに、なんで老人が落ち着いているのか？いや、特別なことをしていないから、落ち着いているんです。ふつうのこと、つまり、生活的なことをちゃんとやることこそ認知症介護です。

介護42年目 生活とリハビリ研究所 三好春樹

時間 いずれも **10:30~15:30**

会場 **上野グリーンクラブ**

(東京都台東区上野公園3-42 / 根津駅から徒歩約5分)

前期

第1回 5月19日(金)

人間学的 認知症ケアを 始めよう

いま求められているのは人間学的根拠です。化学物質(薬)や対人関係技術ではなく、生活と人生に関わる介護の力で豊かな認知症ケアを。

第2回 6月9日(金)

認知症の 人間学的分類と 対応法

脳による分類では介護の中身は見えてきません。新しい分類法で、認知症老人のニーズが現われてきます。

第3回 7月14日(金)

「問題行動」の 分析と対応法

「問題行動」とは「問題介護に伴う老人の行動」の意味。生活と人間関係、さらに人生の中に異食、弄便などの原因を探っていきます。

後期

第4回 9月15日(金)

HDS-Rの活用法と 認知症ケアの 原則

「長谷川式簡易知能評価スケール」の革命的活用法と、現場の実践から生まれたケアの原則を、ケース会議形式で。

第5回 10月20日(金)

生活づくりの 認知症ケア

生活の基本である「食事」「排泄」「入浴」をちゃんとすれば、薬も特別な関係技術も不要になります。特に排泄ケアがポイント。

第6回 11月10日(金)

関係づくりの 認知症ケア

ベストセラー『関係障害論』の著者である講師が、最も介護現場に訴えたい内容です。これを聞かずにケアができるか!



各講座1回受講で、認知症ケア専門士単位が**3単位**取得できます!!

テキスト、お申し込み方法などは裏面で